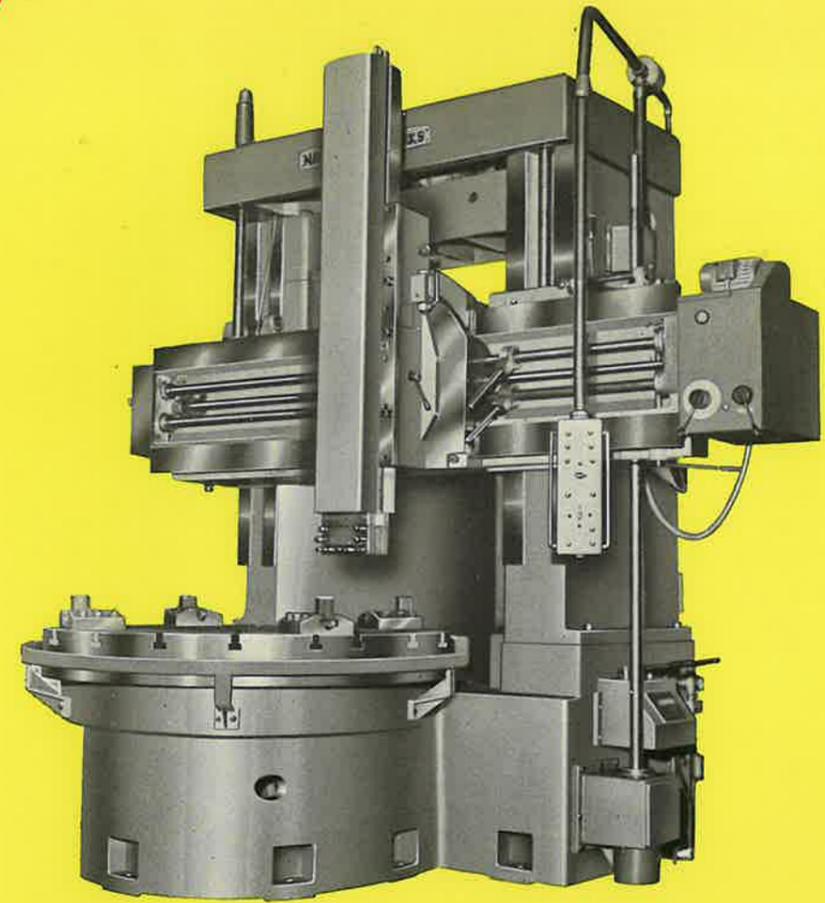




中山鉄工

〈立旋盤〉



NVT 2200

VERTICAL

TURRET

LATHE



株式会社 中山鉄工

新潟県長岡市宮内7-3-8 電話 0258 (35) 0766 (代表)

●概要

本機は近來加工物の大型化に共なって、作業能率の合理化と機械の精度維持、安全性と強力切削の要求に満足いただけるよう製作された一般に使用される汎用立旋盤であります。特に各部機構を簡素化し操作、機械の保守、点検が容易にできる最も経済的な実用機械であります。

●機械の主要仕様

区分	項目	単位	数値		
			ラムタイプ	タレットタイプ	
テーブル	テーブル直径	mm	1,800		
	最大旋削外径	"	2,200	2,120	
	最大旋削高さ(テーブル上)	"	1,080	1,250	
	最大加工物重量	kg	7,000		
	テーブル最大回転力	kgm	2,000		
	最大切削力	kg	1,500		
	テーブル速度数及び回転数	step.r.p.m	12.	2.5~125	
	タレットヘッド上下移動量	mm	750		
	ラムヘッド上下移動量	"	1,000		
	タレットラムヘッド左右移動量	"	LH100 RH1,280 <small>テーブル中心より</small>		
刃物	タレットラムヘッド左右傾斜角度	deg	左右 各30		
	タレットラムヘッド工具取付穴	mm	100	70	
	取付得るバイトの大きさ	mm	35×35		
	タレットラムヘッドの送り変換教及び送り量	stepmm/rev	12.	.005~3.0	
	タレットラムヘッドの上下左右早送り速度	mm/min	50∞	1,300	
	"	"	60∞	1,550	
	クロスレール	クロス下面とテーブル上面との最大距離	mm	1,305	
		クロスレール早走り速度	mm/min	50∞	300
		"	"	60∞	360
		クロスレール上下移動量	mm	700	
電動機	主電動機(極数変換)	kW×P	30/22/19/15× 4/6/8/12		
	タレットラムヘッド早走り電動機	"	1.5×4		
	クロスレール早走り電動機	"	3.7×4		
	潤滑油(送り歯車箱)ポンプモータ	W×P	75×4		
	潤滑油(テーブル油圧)	kW×P	0.75×4		
機械の大きさ	最大高さ	mm	4,660	4,440	
	機械据付面積(前後×左右) (但し制御盤設置位置により変更)	mm×mm	4,700×3,800		
	機械全重量	kg	18,000		

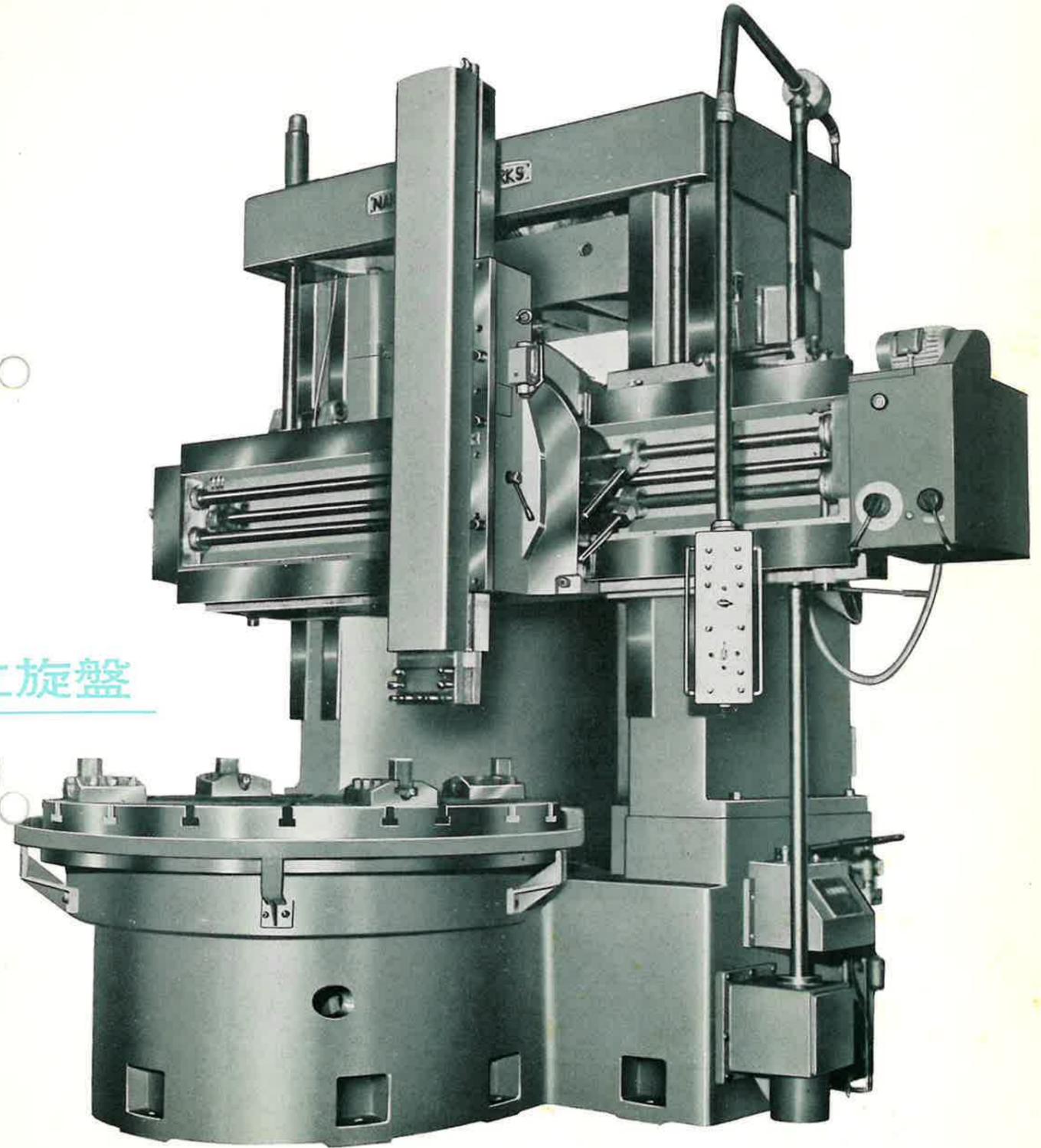
●特長

1. 各部の機構の簡素化で安全操作が簡単にできます。
2. 超硬工具の性能を十分に発揮できます。
3. 安全作業を得るため機械各部には入念な危険防止装置がなされていると同時に、主要部品は吟味された材質を使用しております。
4. テーブル主軸軸受は特殊に製作された軸受を使用し、テーブル摺動面は油圧による強制給油方式により回転精度、耐荷重性を考慮し、長期の精度を維持いたします。
5. 各部主要摺動面は焼入研磨仕上で十分な精度保持がなされます。

※特別仕様により最大旋削高さラムタイプ1,350mm・タレットタイプ1,500mmの製作にも応じます。

中山鉄工 立旋盤

NVT2200



充分な安全装置と高精度の摺動面

●機械の操作

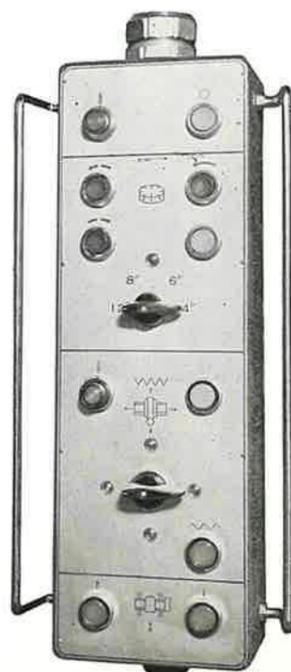
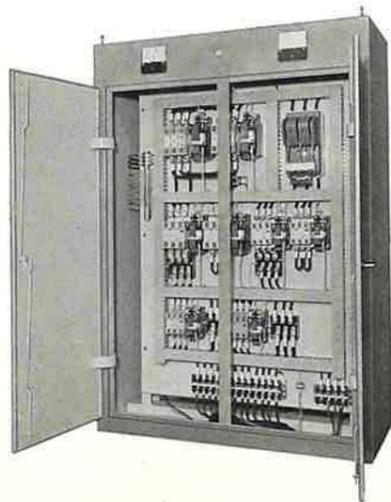
運転操作は、テーブルの3段変速及び送り量の変換以外は、全て吊り下げ式の操作盤にて操作が可能です。

安全装置

各部の安全装置が十分に考慮されております。

特にテーブル回転関係は、入念な安全装置が施されております。

- ①各移動部分の極限にはリミットスイッチが付いています。
- ②テーブル潤滑油圧力が不足の場合は、全ての操作が起動いたしません。
- ③テーブル回転は、8P・12Pの位置からでないとは起動いたしません。寸動は正逆寸共に12Pの位置でないとは起動いたしません。
- ④テーブル回転で変換された極数位置での回転が完全に出てからでないとは、次の変換は起動いたしません。
- ⑤テーブル非常停止の場合は、逆相制動による制動方式を用いるため、これを制御するためのブラッキングスイッチを付属しています。
- ⑥切削送り中、早走りを掛け、所定の位置で早走りを停止すると、そのまま切削送りがかかります。
- ⑦各モーターは過負荷継電器により保護されております。
- ⑧モーター用電磁開閉器で正逆用のものはインターロックがあります。



●テーブル駆動関係

テーブル駆動歯車群は、テーブル主軸軸受部を持ったベッド内に装置され、全て立軸駆動でギヤの切換で三段の変速ができ、高精度の焼入研磨加工が施されており円滑で静粛な駆動を行います。

又テーブル軸受は特殊なコロ軸受と強制給油方式が施された平面軸受からなり、回転精度はコロ軸受で保持し、テーブル上面荷重はコロ軸受で支え、長期の精度を維持いたします。又主電動機はベッド後部に取付けられ、Vベルトにより駆動いたします。

